

避難所って何だろう？

みんなで避難所のことを 考えてみよう！！



↑
発表会

大阪市立
長吉中学校



↑
パソコンによる
資料作成



↓
活動風景

↓
簡易トイレ設置



避難所研究会
(2年生)



防災教育 チャレンジプラン

	月 別 活 動 報 告
2004 11 月	9日(火) 第1回打合せ 「防災教育チャレンジプランの概要説明及び企画内容について」
12 月	13日(月) 第2回打合せ 「企画内容と申し込みについて学校側と調整」
2005 1 月	14日(金) 第3回打合せ 「学校側と申し込み内容の最終確認」
2 月	
3 月	
4 月	
5 月	18日(水) 平成 17 年度第 1 回PTA実行委員会開催 (平成 17 年度PTAはここから活動を開始します) 18日(水) PTA役員会で本プランの発表及び内容確認
6 月	7日(火) 平成 17 年度予算総会時に本プランの発表及び協力依頼要請
7 月	7日(木) 防災教育チャレンジプランの参加のお知らせ配布 13日(水) 防災センター見学及び第 1 回防災実技講習参加募集配布
8 月	防災センターは参加希望 3 名のため中止 28日(日) 防災実技講習受講
9 月	22日(土) 第2回防災実技講習参加募集
10 月	29日(土) 防災実技講習受講及び本プラン参加者の確認
11 月	5日(土) 生徒の研究会(15:00～16:30) 7名 19日(土) 生徒の研究会(14:00～16:00) 13名
12 月	3日(土) 生徒の研究会(10:00～12:00) 6名 10日(土) 生徒の研究会(10:00～12:00) 5名 18日(日) 生徒の研究会(10:00～13:00) 2名 24日(土) 生徒の研究会(10:00～12:00) 5名
2006 1 月	7日(土) 生徒の研究会(10:00～12:00) 4名 14日(土) 生徒の研究会(10:00～12:00) 3名 21日(土) 生徒の研究会(10:00～12:00) 6名 28日(土) 生徒の研究会(10:00～12:00) 6名 31日(火) 発 表 会 (19:30～20:40) 6名

準備から募集

- * 防災教育チャレンジプラン参加のお知らせ
- * 長吉中学校防災教育チャレンジプラン
- * 防災教育チャレンジプランへのご協力について
- * 防災教育チャレンジクラブ
- * 長吉中学校防災教育チャレンジプラン参加募集案内！！
 - ・ 防災実技講習へ行ってみませんか？
 - ・ 人と未来防災センターへ行ってみませんか？

平成17年7月7日

PTA会員 様

大阪市立長吉中学校

PTA会長 鈴木光一

防災教育チャレンジプラン参加のお知らせ

盛夏の候、PTA会員の皆様方には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は学校教育並びにPTA活動にご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本校PTAでは、NPO法人「キャリアワールド」主催の防災教育チャレンジプランに参加することになりました。つきましては、防災教育チャレンジプラン参加に伴う各種行事への本校生徒の参加について、PTA会員の皆様方のご協力をお願いいたしてお知らせいたします。

* 防災教育チャレンジプランとは？

内閣府・総務省消防庁・文部科学省・国土交通省・日本赤十字社等が後援し、全国各地の防災教育への意欲をもつ団体・学校・個人等に対し、より充実した防災教育プランを募集し、「防災教育チャレンジプラン」として選出した上で、その実践への支援をする事業です。2005年度は、全国40件ほどの応募の中から長吉中学校の避難所に関するプランを含む20件が選ばれました。

* インターネットでも「防災教育チャレンジプラン」の内容がご覧いただけます。

長吉中学校のプランもありますよ！

URL <http://www.bosai-study.net>

裏面を必ずご覧ください！

長吉中学校防災教育チャレンジプラン

長吉中学校を避難所として利用する場合の避難所利用計画を作成し、地域の住民方への防災広報紙として配布します。それに伴い、夏休みを利用して下記のような行事を実施します。生徒や保護者の方の参加をお願いします。

1 防災センターの見学《平成17年8月7日（日）11時長中集合》

「人と防災未来センター（神戸市）」で楽しみながら阪神大震災のことを見聞して、大地震が発生したときは何をすればいいのかを勉強します。

12時出発（観光バス内にて軽食提供）～13時頃到着～見学～16時30分頃帰校予定

2 防災実技講習体験《平成17年8月28日（日）11時長中集合》

大阪市消防局の消防学校（東大阪市）で「防災実技講習」で燃焼と消火についての学習や、消火器や過激式ポンプを使った消火訓練、てんぷら油の燃焼実験、煙の中での行動や避難方法などを学びます。

12時出発（軽食提供）～13時体験開始～16時終了～16時30分出発～

17時10分帰校予定 参加人数によりバスまたは乗用車で送迎します。

3 防災訓練《平成17年12月～平成18年1月》

- * 中学校関係者（生徒・保護者・先生）と地域の方とが一体となって防災訓練を実施し、生徒たちが先に学んだ消火器や過激式ポンプを使用した消火訓練などを行います。
- * 大規模な災害により長吉中学校が避難所になった場合を考えて、長吉中学校の活用方法・避難所設営、運営要領を作成し、防災訓練時に地域住民にリーフレットとして配布したいと考えています。

長吉中学校で、連合町会の人たちと防災訓練（消火、避難）を実施します。

平野消防署へもしご車や特別救助隊などの参加をお願いする予定です。

別途募集案内を配布します！

大勢の皆様の参加をお待ちしています。 PTA

防災教育チャレンジプラン

このお知らせは、次のようなことを考えてもらうために本校生徒に参加を呼びかけるものです！！

- * 大規模な災害が発生したときには、地域の避難所になる長吉中学校が避難所としての機能があるのか？
- * 避難所になったときには、体育館や運動場をどのように使うのか？
- * 避難所の設営や運営は誰がするのか？ etc...

平成17年度の一年間に次のようなイベントをしながら、みんなで考えていきたいと思っていますので、興味のある方はぜひ参加してください！
いずれも参加費無料で、本校生徒の参加に限定しますが、保護者同伴も歓迎します。

防災センター見学

「人と防災未来センター」で阪神淡路大震災の概要を見学します（日）
平成17年8月7日（日）
11時から16時の予定

防災実技講習体験

消火器や過搬式ポンプを使った消火訓練、煙の学ぶ方法や避難方法を学ぶ（日）
平成17年8月28日（日）
11時から17時の予定



募集の詳細は別添申込書に書いてます。
よく読んで応募してください。

本イベントは長吉中学校PTAが主催します。なお、本活動は、NPO法人防災教育チャレンジプランの全応募40件の中から本校が選ばれて開催するものです。

防災教育チャレンジプランへのご協力について

長吉中学校PTAでは、下記のテーマで防災教育チャレンジプランに参加しています。

テーマ「自分たちの町の避難所を考えてみよう！」

大地震等の災害により多くの住宅に被害が出た場合には、長吉中学校が避難所になることを保護者や地域知ってもらおう。そして、避難所になった場合には長吉中学校の生徒とPTAは何ができるのか？を考えようというものです。

今後は次のことを実施していく予定にしています。今回の防災実技講習時に参加する生徒にも説明させていただきまます。つきましては、生徒たちに参加の意思があれば保護者の皆様のご協力をよろしく願いたいと考えています。

実施対象者	内 容
生 徒	避難所になる中学校のことを知ってもらう。 (例)・ 非常時の備蓄品は何があるのか？ ・ その置き場所はどこなのか？ ・ 体育館は何人収容できるのか？ ・ グランドには車が何台駐車できるの？
生 徒	避難所に関することを表などにまとめてPTAと地域へのチラシを作成する。
生徒と保護者 PTA実行委員	長吉中学校を開放した地域との防災訓練時に作成したチラシを配布する。

防災教育チャレンジプランとは、いつやってくるかわからない災害に備え大切な命を守り、できるだけ被害を減らし、万が一被害にあった時すぐに立ち直る力を一人一人が見につけるため、全国の地域や学校で防災教育を推進するためのプランです。

主催：防災教育チャレンジプラン実行委員会
後援：内閣府・総務省消防庁・文部科学省・国土交通省・全国市長会・全国町村会
日本赤十字社・全国都道府県教育委員会連合会

長吉中学校防災教育チャレンジプラン参加募集案内！！

防災実技講習へ行ってみませんか？

「防災実技講習【大阪市消防局消防学校（東大阪市）】」へ行って煙の中の避難方法を体験や、実際の炎を消して見ませんか？また、避難式ポンプなるものを体験してみてください。

《平成17年8月28日（日）募集人員10名 11時30分長吉中学校集合》

- 11時30分より当日の予定を説明します。
- 12時頃出発【参加人数にもよりますが乗用車等で行く予定です。車中軽食提供】
- 12時30分頃到着～13時体験開始～16時終了
- 17時頃帰校予定

保護者の皆様へ

下記の申し込み書に必要事項の記入及び押印をして、学校を通じてPTAまで提出をお願いします。

お断り・参加募集人員が10名程度なので申し込み者多数の場合は、3年生から優先して参加していただきたいと考えていますのでご了承ください。

申し込み締め切り日【平成17年7月15日（金）】

疑義、質問等があればPTA会長の鈴木まで連絡ください。

自宅06-6705-6855 携帯090-9696-5606

切り取り線

防災教育チャレンジプラン（防災実技講習申込書）

フリガナ	
氏 名	
学年・組	年 組
保護者氏名	印（ ）
電話番号	

長吉中学校防災教育チャレンジプラン参加募集案内！！

人と未来防災センターへ行ってみませんか？

「人と防災未来センター（神戸市）」行って映像やジオラマを見ながら、阪神・淡路大震災のことを体験してみてください。

《平成17年8月7日（日）11時長吉中学校集合》

- 11時より当日の予定を説明します。
- 11時30分頃出発【観光バス内にて軽食（サンドウィッチ&ジュースの予定）提供】
- 12時30分頃到着～別添資料の内容を見学します。
- 16時30分頃帰校予定

保護者の皆様へ

下記の申し込み書に必要事項の記入及び押印をして、学校を通じてPTAまで提出をお願いします。

お断り・観光バスを利用する都合上、参加人員が30名に満たない場合は、9月頃に延期して再度募集する予定にしていますのでご了承ください。

申し込み締め切り日【平成17年7月15日（金）】

疑義、質問等があればPTA会長の鈴木まで連絡ください。

自宅06-6705-6855 携帯090-9696-5606

切り取り線

防災教育チャレンジプラン（人と防災未来センター見学申込書）

フリガナ	
氏 名	
学年・組	年 組
保護者氏名	印（ ）
電話番号	

防災実技講習

* 防災実技講習の詳細について

第1回 平成17年 8月28日（日）

第2回 平成17年10月29日（日）

* 防災実技講習写真

防災実技講習参加者の保護者 様

大阪市立長吉中学校
PTA会長 鈴木光一

防災実技講習の詳細について

このたびの防災実技講習への参加ありがとうございます。次の事故をよく読んで当日参加してください。

- 1 日 時 平成17年8月28日(日)
- 2 場 所 大阪市消防局消防学校(東大阪市三島)
- 3 参加者 6名〔女子4名・男子2名〕
- 4 集 合 11時までに長吉中学校 1階会議室に集合
- 5 服 装 動きやすく、煙の中に入るので汚れてもいいもの
- 6 持 参 品

* 汗拭き用タオル or ハンカチ

* 水筒等：講習途中の補給用飲料水として（講習終了後は飲み物を用意します）

7 当日の日程

- 11時（講習内容の説明・軽食提供）～12時（出発）～12時40分（到着）～
- 13時（体験開始）～16時（終了）～16時30分（出発）～
- 17時10分頃帰校予定

中学校から往復を乗用車で送迎します。

- 8 連絡先 鈴木携帯 090-9696-5606

防災実技講習参加者の保護者 様

大阪市立長吉中学校
PTA会長 鈴木光一

防災実技講習の詳細について

このたびの防災実技講習への参加ありがとうございます。次の事項をよく読んで当日参加してください。

- 1 日 時 平成17年10月29日(土)
- 2 場 所 大阪市消防局消防学校(東大阪市三島)
- 3 参加者 10名程度
- 4 集 合 11時までに長吉中学校 1階会議室に集合
- 5 服 装 動きやすく、煙の中に入るので汚れてもいいもの
- 6 持 参 品

* 汗拭き用タオル or ハンカチ

* 水筒等：講習途中の補給用飲料水として（講習終了後は飲み物を用意します）

7 当日の日程

- 11時（講習内容の説明・軽食提供）～12時（出発）～12時40分（到着）～
- 13時（体験開始）～16時（終了）～16時30分（出発）～
- 17時10分頃帰校予定

中学校から往復を乗用車で送迎します。

- 8 連絡先 鈴木携帯 090-9696-5606

講習内容説明



てんぷら油火災 に水をかけた時の 消火実験



煙の性質を勉強 しながらの 煙中避難訓練



消火器による 消火訓練



放水訓練



チャレンジプラン活動

* 防災教育チャレンジプラン

「もし、長吉中学校が避難所になったら？」

* 活動中の写真

防災教育チャレンジプラン

もし、長吉中学校が避難所になったら？

避難所について家庭で考えてみませんか？

考えたことや思いついたことを空欄に書いて10月29日に持参してください。よろしく願います。
いろいろなことを書いてきてもらえとうれしいです。
29日にもう一度みんなで考えたいと思います。

・時避難場所と広域避難場所の違いを知っていますか？

避難所って誰が、どんなときに、何のために利用するのかな？

避難所に必要な物は？

避難所に必要な人は？

10月29日(土)11時1階会議室に集合してください。

「もし、長吉中学校が避難所になったら？」への回答

中学生の意識調査も兼ねたアンケート調査を実施しました。

* 避難所って誰が、どんなときに、何のために利用するのかな？

- ・ 災害時に避難した地域住民が、一時避難生活ができる場所
- ・ 地震、台風
- ・ 地震のときに避難する場所
- ・ 災害がおいたときに人が逃げ込む所
- ・ 被害にあった人が、すごい災害のとき、避難のために
- ・ 地震や火事や山崩れの時に命を守るために避難所を利用する
- ・ 地域の人が被災したときに、それ以上の危険に会わないため
- ・ 市民が災害にあった時

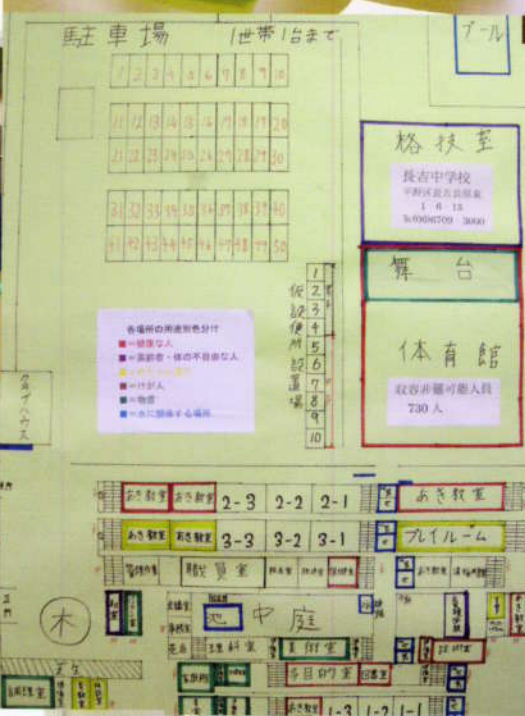
* 避難所に必要なものは？

- ・ カンパン、水、ガスコンロ、毛布
- ・ 毛布、非常食、水、薬、ラジオ、トイレ
- ・ 毛布、ガス、食料品、ストーブ、電気、トイレ、皿、風呂、衣服、ラジオ、ゴミ箱、救急箱
- ・ 食料、布団、赤ちゃんのもの、ストーブ (冬)
- ・ 食料、水
- ・ めし、水
- ・ 水、食べ物、毛布
- ・ 水と食べ物 (人々が生活できる量)

* 避難所に必要な人は？

- ・ 災害時に災害対策本部からの情報の収受や災害復旧等の情報を知る人
- ・ 災害に詳しい人
- ・ 頭のいい人
- ・ 医者、ボランティア (3名回答)
- ・ 病院の先生、ボランティア、元気な人、ゴミを集めてくれる人、料理を作る人、食器を洗う人

防災教育チャレンジプラン活動状況



学校施設内における避難者別の利用場所色分図 →

図面作成中 ↑

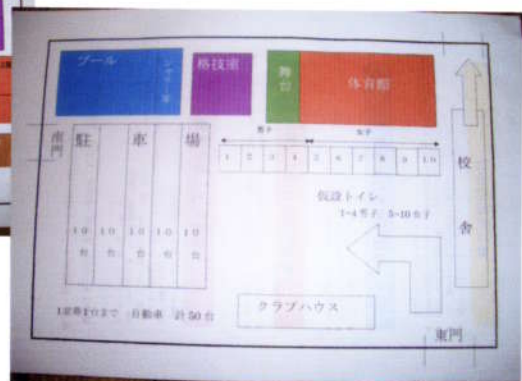
↓ 打ち合わせ中



↑
のパソコンによる
利用者別色分図
作成



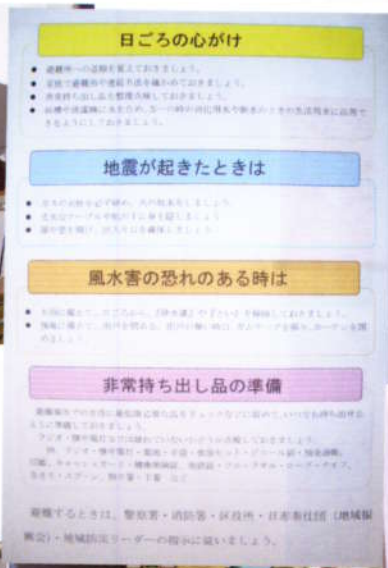
↑
見開き2ページの図面 →



防災教育チャレンジプラン活動状況



日ごろの
心がけ等→



↑
避難所生活の
基本的ルール

↑ 車椅子用トイレに
簡易トイレを設置した例 ↓



← 和式トイレ
に簡易トイレを
設置した例 →



防水シート & 毛布



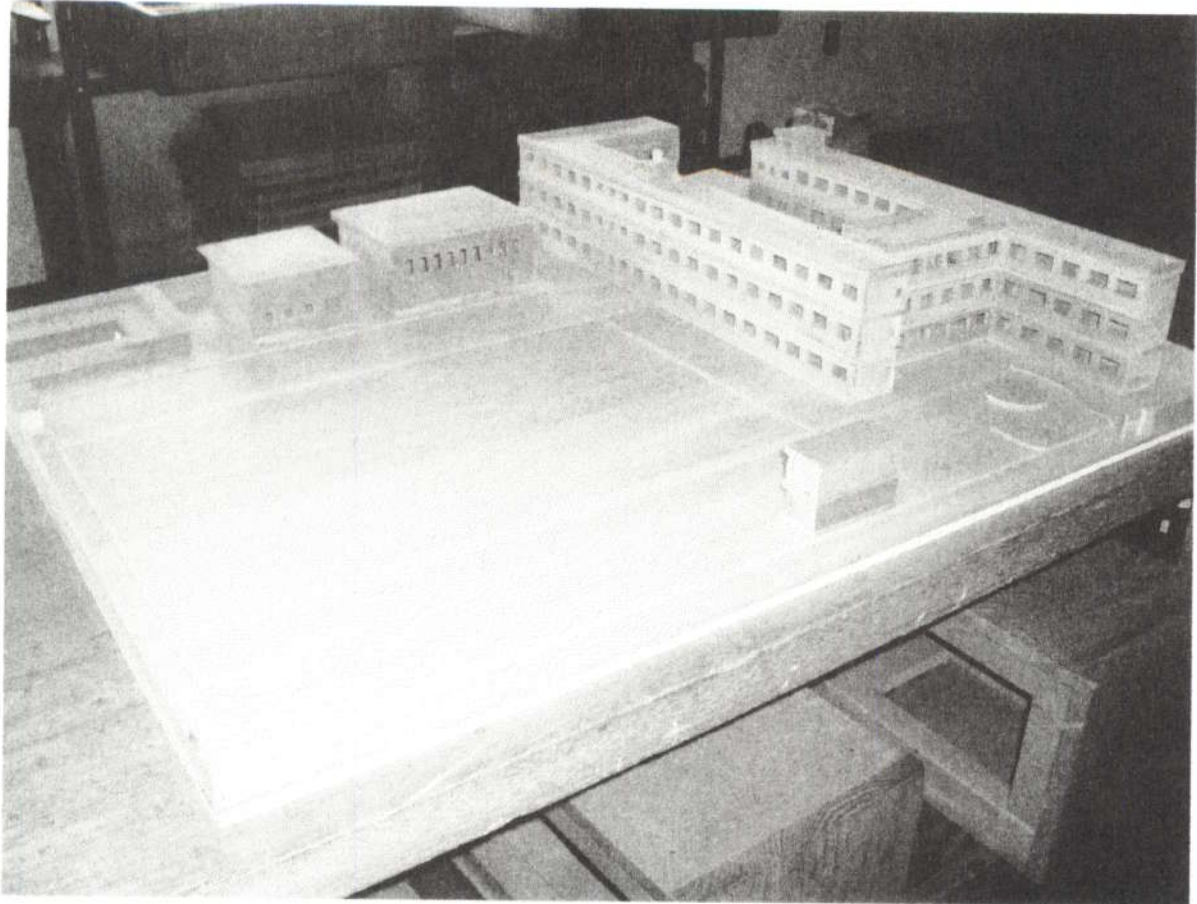
展示用品 ↑



小水の消費水を限
すれの便の水缶に
流す水の消費水を限



長吉中学校模型



学校全景



発表会

- * 防災教育チャレンジプランに伴う発表会のお知らせ

- ・ 地域防災リーダー

- * 発表会写真

取材に来たマスコミ

- ・ 大阪日日新聞
- ・ 朝日学生新聞社

- * 新聞切り抜き

- ・ 大阪日日新聞〔平成2月4日（土）〕

平成 18 年 1 月 19 日

地域防災リーダー
並びに関係各位 様

大阪市立長吉中学校
PTA会長 鈴木光一

防災教育チャレンジプランに伴う学習発表会のお知らせ

厳寒の候 年も改まりましたが、例年になく寒さが続いております。

平素は当校の行事へのご支援並びに当校生徒が日々の学校生活を無事に過ごせるのも地域の皆様のおかげと感謝いたしております。
この場をお借りいたしましたして厚くお礼を申し上げます。

さて、当校におきましては、NPO法人「キャリアワールド」が主催する「防災教育チャレンジプラン」に参加しています。当校の参加プランは「避難所ってなに？自分の町の避難所を考えよう」ということで、生徒たちが自分たちの学び舎である学校施設が避難所になればどのようなことが必要であるかを考えました。つきましては、防災教育チャレンジプラン参加に伴う学習の結果を下記の要領で発表させていただきますたいと準備しております。お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、本発表会へのご出席を賜りますようお願い申し上げます。

1 日 時 平成 18 年 1 月 31 日 (火) 午後 7 時 30 分

2 場 所 長吉中学校 会議室 (1 階)

3 発表内容

- (1) 教室などを避難者の形態別に色分けした図面を作成
- (2) 避難所でのルールについて
- (3) 学校保管の備蓄品の使用方法等について
- (4) 学校施設の縮尺模型の展示
- (5) 非常持ち出し品の展示

* 防災教育チャレンジプランの詳細については別紙をご覧ください。

防災教育チャレンジプランとは？

昨年は度重なる台風被害や新潟中越地震など、多くの災害に見舞われました。災害はいつやってくるかわかりません。いつやってくるかわからない災害に備え大切な命を守り、できるだけ被害を減らし、万が一被害があった時すぐに立ち直る力を一人一人が身につけるため、全国の地域や学校で防災教育を推進するためのプランです。

全国各地の防災教育への意欲をもつ団体・学校・個人等に対し、より充実した防災教育のプランを募集し、「防災教育チャレンジプラン」として選出した上で、その実践への支援を行います。

1年間の実践の後、その実践例や支援した取り組みの内容をワークショップを通じて広く公開・共有することともに優れた実践の表彰を行うことで、全国の防災教育に取り組み団体・学校・個人やそのプランに光をあて、各地域で自律的に防災教育に取り組むことのできる環境づくりを目指します。

防災教育 チャレンジプランの 実践

- 新しいプラン内容の開発
- 新しい連携体制の構築 など
- 新しい教材の開発

防災教育チャレンジプラン実行委員会

委員長	委員	幹事
林 智男	京都大学防災研究所巨大災害研究センター教授	
井上 浩一	防災ネットワークプラン代表	
今井 通子	(株)ル・ベルソー代表	
海野 修司	国土交通省京浜河川事務所所長	
健屋 一	板橋区板橋福祉事務所所長	
上 野 周平	内閣府参事官(地震・火山対策担当)	
岡崎 徳江	危機管理対策アドバイザー	
栗田 暢之	特定非営利活動法人レスキューストックヤード代表理事	
沢野 次郎	災害救援ボランティア推進委員会事務局長	
篠田 真司	江戸川区立葛西中学校教諭	
下河内 司	総務省消防庁防災課課長	
脚訪 清二	兵庫県立舞子高等学校環境防災科教諭	
立田 慶裕	国立教育政策研究所生涯学習政策研究部総括研究官	
出口 陽一	内閣府参事官補佐	
寺脇 研	文化庁文化部 部長	
永峰 好美	読売新聞社解説部次長	
布村 明彦	国土交通省河川局河川計画課課長	
平田 直	東京大学地震研究所教授	
福和 伸夫	名古屋大学大学院環境科学研究科教授	
細川 顯司	財団法人市民防災研究所調査研究部長	
松尾 知純	防災を考える若き市民の会代表	
南島 正重	地震学会学校教育委員 東京都立小石川高等学校教諭	
務台 俊介	総務省自治体財政政局調整課課長	
山田 兼尚	国立教育政策研究所生涯学習政策研究部長	

(順不同・敬称略)

【地域防災リーダー】

1 発足の経緯

阪神・淡路大震災以降、地域住民の自主的な防災活動の重要性が再認識されたことから、「大阪市地域防災計画」が抜本的に見直され、自主防災組織等の育成が強化項目の一つにあげられた。地域防災リーダーは、大阪市赤十字奉仕団（大阪市地域振興会）を基盤に、平成8年7月から各行政区ごとに組織され、実質的な活動を開始した。

2 組織の目的

大規模災害が発生した場合、地域防災リーダーが住民による組織的な防災活動の中核となり、被害の軽減を図る。

また、平常時においては、地域における防災意識の啓発等を行い、自主防災力の強化・活性化に努める。

3 組織

(1) 連合振興町会（331連合）を単位に、原則として16名で構成されている。

情報班		3名（リーダー1名、サブリーダー2名）
隊長 1名	初期消火班	3名（" "）
	救出・救護班	3名（" "）
	避難誘導班	3名（" "）
	給食・給水班	3名（" "）

・大阪市全体で5,347名が登録。（平成16年4月1日現在）

(2) 個人装備品

- ・防災服（上衣、ズボン、ベルト、帽子）、防雨衣料、ヘルメット、長靴、革手袋
- ・携帯無線機（1連合に1基、区役所との連絡用として隊長又は情報班長が使用）

4 活動内容

非常時においては、地域住民に協力を求めて、情報の収集及び伝達活動、可搬式ポンプ等を使用した初期消火活動、救助資器材等を使用した救出・救護活動、避難誘導活動、給食・給水活動を自主的に行う。

平常時においては、地域の防災点検や、住民に対する防災知識の普及等を自主的に行う。

5 救助用資器材、備蓄物資の配備

(1) 救助用資器材

- ア 配置場所
- ・区役所、同出張所
 - ・学校などの収容避難所
 - ・公園等の可搬式ポンプ収納庫

イ 種類

バール、ジャッキ、のこぎり、ロープ（40m）、かけや、シャベル、救急セット、布担架、手斧

(2) 備蓄物資

- ア 配置場所
- ・区役所、同出張所
 - ・学校などの収容避難所

イ 種類

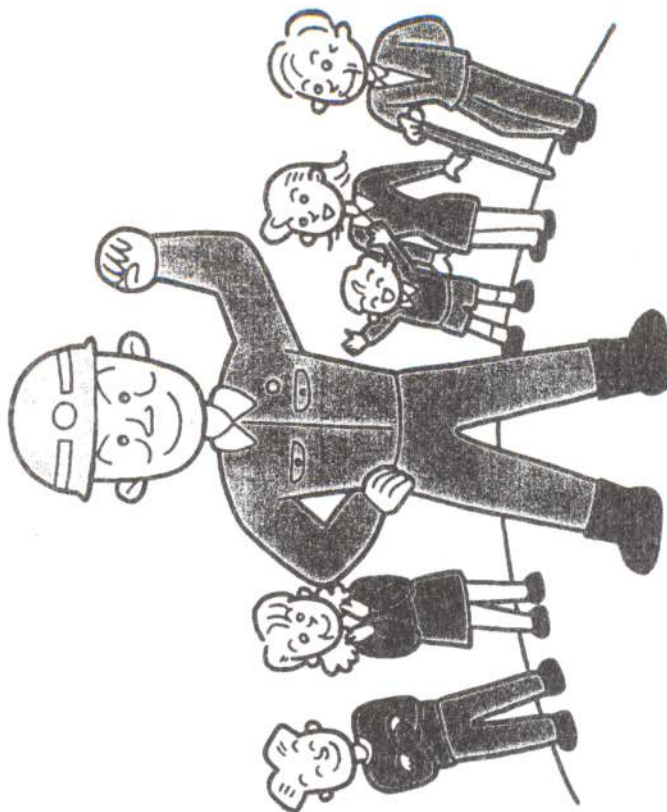
食糧（アルファ米、乾パン）、水缶詰、毛布、エマージェンシーブランケット、ラジオ、懐中電灯、日用品セット、防水シートなど

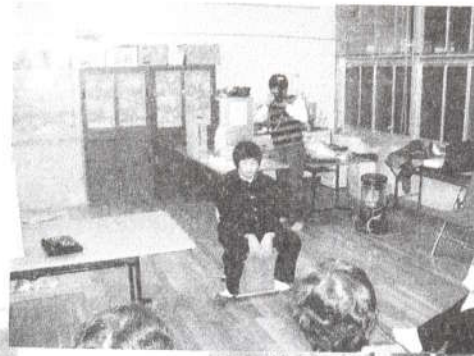
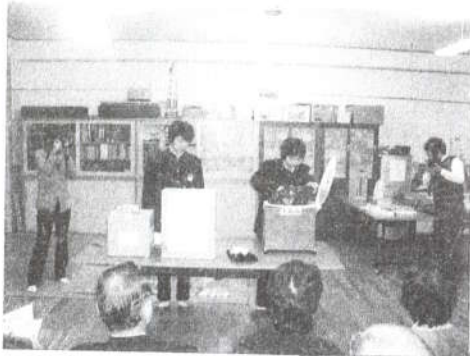
II 平常時の活動

「自分たちのまちは自分たちで守る」という住民意識は、地域防災リーダーが中心となって広め、一人でも多くの住民がその活動に参加することが必要です。とくに災害時において、地域防災リーダーは住民の協力を求め「非常時の活動」を行うわけですが、そのためには平素から地域の人たちをまとめ、常に災害に対する準備をしておくことが大切です。

地域ぐるみで次のような平常時の活動に取り組みましょう。

- 1 住民としての防災点検
- 2 地域防災リーダーとしての防災点検
- 3 地域の防災啓発
- 4 地域の防災訓練





発表会
平成18年
1月31日
(火)
19時30分～



簡易担架の
使用説明↓の



地域防災リーダー
PTA会員→

発表内容

1 避難者別利用場所色分け図

高齢者の方には畳の部屋、赤ちゃん連れの家族には夜泣きなど気にしなくて良い配置を考えました。区役所の計画では長吉中学校には730名収容できるように記載されています。「阪神淡路大震災の時に当初は避難所150人に1基、ついで100人に1基を目標に設置した。100人に1基設置した段階で苦情はかなり減って、75人に1基設置した段階では苦情はほとんどなくなった。」という記述を参考にすると、長吉中学校には10基の仮設トイレが必要であることを伝えました。

2 防水シート・毛布

防水シートは、普段土足で使用する教室の床にしきます。こうすれば土足で上がらずに教室を避難所として使用できます。そのシートの上に毛布をひいて使用します。底冷えの防止のためにシートと毛布の間に新聞紙やダンボールをはさむと効果的だと思います。ふとんは必要ですが、高齢者の方でふとんの搬送ができない方がいれば私たち中学生が手伝うことを伝えました。

3 避難所生活のルール（別紙資料参照）

基本的な生活のルールを提示しました。災害時にはこれを基本にその避難所ごとに必要なルールを付け加えて使用することを伝えました。

4 簡易トイレ

簡易トイレの組み立て方・使用方法の説明をしました。小便だけの使用では排泄シートがもったいないので携帯用トイレを使用することを提案しました。この携帯用トイレを使用すれば、高齢者の方や子供は体育館や教室からトイレに行かなくても、その場で用を済ますことができるのではと考えました。阪神淡路大震災のときにトイレに行くのを我慢して水分を控えた高齢者の方がいたことを考えると、携帯用トイレは必要ではないでしょうか？簡易トイレは、車イス用のトイレにならそのまま設置できます。でも、さきに述べたように長吉中学校に仮設トイレは10基必要ですが、簡易トイレは4個しかありません。こんど区役所に携帯用トイレの備蓄と簡易トイレの追加をお願いしたいと思います。

5 日用品

何も持ち出せなかった人のために簡単な日用品がセットになったものがあります。その日用品の内容の説明をしました。

6 非常持ち出し品

リスト（別添資料）だけではわかりにくい非常持ち出し品について、実物を示してわかりやすく説明しました。



学校 避難所に何必要？

トイレ設置など実演

防災会
で発表
中
吉原
長
プ

・平野区

平野区 東一丁目の長吉中(八田実校長)でこのほど、災害で学校が避難所になったとき何が必要か生徒が考える防災プラン発表会(同校PTA主催)が行われ、防災グッズを実演しながら紹介していく生徒たち

平野区 東一丁目の長吉中(八田実校長)でこのほど、災害で学校が避難所になったとき何が必要か生徒が考える防災プラン発表会(同校PTA主催)が行われ、防災グッズを実演しながら紹介していく生徒たち

われた。同校を避難所とする長吉東部連合の防災リーダーや保護者ら約二十人を前に、二年生六人がプランを発表した。同校は、若い人たちの災害に対処する能力を高め、多くの人にそのアイデアを発信しようという「防災教育チャレンジプラン」(同実行委員会主催)で選ばれた全国二十

の実践団体の一つ。PTAによる応募は初で、成果が注目されている。

生徒たちは、PTA会長の鈴木光一さん(画)を中心に三カ月間、土曜日を利用して防災プランを練った。

阪神・淡路大震災で学校が避難所になった時に、出た不便や不満を教訓に、部屋割りして地図を

作り、生活ルールを考えた。各世帯に配れるようパンフレットを作った。

また、校内にある備蓄品を再点検し、使い方を確認。発表では簡易トイレの設置の仕方などを、生徒たちが手際良く実演した。

生徒の田枝瞭さん(画)は「前もって勉強しておけば、本番でも助けになれるはず」と話す。発表後には、防災リーダーの大内英生さん(画)が「よく考えている発表だった。次には君たち自身がどう動くのかまで、主体

的に考えてみては」と生徒たちに呼び掛けていた。

(多賀知子記)

まとめ

中間発表までは生徒の募集等がうまくいってなかったのですが、第2回目の防災実技講習がすんで活動してくれる生徒が決まったことでようやく軌道に乗れました。当初計画していた防災訓練時における地域住民の方への発表ではなく、地域を守るために選ばれている地域防災リーダーの方に発表するという少数人数への発表会に切り替えたことによって、生徒たちと地域の方へのコミュニケーションがよく取れたのでは考えています

大きなイベント形式で1回だけで終わる継続性のないものよりも、このような小さい規模での発表会形式なら、最初にある程度の形さえできればコツコツ回数を重ねていくことが可能ではないかと考えます。学校にある備蓄品や学校施設を少しの時間（長中では結構かかりましたが）をかけて研究するだけで発表できると思います。

もっと全国のPTAの方にわかりやすく、やりやすい防災教育の内容が提示できればよかったのですが、なかなか思うように行きませんでした。

しかし、今回の防災教育チャレンジプランに参加した結果、このような発表会を実施することができました。これによりPTAや地域の人などの大人が、学校=避難所ということをし少しは理解や意識をしてもらえそうな気がしました。

今後の活動

- 1 今回のような発表会形式のことを下記の方々にも実施したい。
 - * 他の連合の地域防災リーダー
 - * 地域・町会
(学校まで来ることができない人のために、各町会の集会所などを巡回する)
 - * 長吉中学校PTAや中学校下の小学校PTA
- 2 今回の生徒は2年生なので、3年生になったあとに自分たちのしたことを、なんとか2年生につないでもらえないかと生徒たちをお願いしていくつもりです。このように育った防災教育の形を、できれば続けてほしいと願うので、上級生から下級生にどんな形でもいいからつないでほしいと思います。
- 3 今回の発表会で展示した成果物や備蓄品を、学校の空き教室を利用して常設的に展示したいと思います。学校側にも申し入れて、空き教室の利用許可をもらっているのもので、参観日などの各種行事のときに保護者が学校にきたときに見てもらえればと考えています。